

熟塾・商品開発公開講座

ガラスに直筆を残す



「ガラス書」を体験し商品化について考えてみよう!

講師：ガラスアーティスト 岡本覚氏

日時：2017年3月3日(金)・午後7時～9時

会場：メビック扇町

大阪市北区扇町2-1-7 カンテレ扇町スクエア3F 06-6316-8780

・地下鉄堺筋線「扇町」駅 2号出口すぐ ・JR環状線「天満」駅 西へ徒歩約3分

会費：一般4,000円・熟生3,000円

(レクチャー・持ち帰りのガラス書作品・雑御膳・飲料代込み)



定員：先着申し込み20名様

パソコンや携帯電話が普及し、書面にしたための機会が極端に少なくなりました。作家でさえも、パソコンで作品を書き上げるようになり、推敲した形跡をたどることも難しくなっています。

用件だけならパソコンや携帯電話の文字でもいいけれど、大切な人への、大切な思いは、その人が書いた、その人が生きた証に、直筆で書き伝え、書き残しておきたい。

直筆を紙の上ではなく、ガラスの上に残す。

大阪のガラスアーティストの岡本覚氏は、「ガラス書」ガラス面上に墨書出来る墨用液を開発し特許を取得、様々な表情を持つガラス板を制作し書道家とコラボして「ガラス書」の展覧会を展開されてきました。

まずは、「ガラス書」とはどのようなものかを岡本氏より拝聴し、実際に体験。

参加いただける方は、誰に(もちろん自分自身へもOK)、どのような思いで、どんな言葉を書きたいのか? 考えておいてくださいね。

作品は各自お持ち帰りいただきます。

そして、書道に馴染みがない人や外国人でも、気軽にガラスの上に直筆を残すために、どのようにすれば商品化することができるか。

雑祭りの夜に雑御膳を食べながら、一緒に考えてみませんか?



岡本覚氏：1955年大阪市内生まれ。1978年にオハイオ ドミニカン カレッジで学んだアメリカ流のステンドグラスを 紹介すべくディストリビューター及び創作作家としてクールステンドグラスを設立したのを皮切りに、箱根・彫刻の森美術館のオブジェ“妖精たちのチャペル”、大阪中之島公園・剣先噴水シンボルモニュメント帆(ふね)から、イタリア料理の名店ポンテベッキオ北浜本店の～ ガラス小品による空間表現～、更には廃棄され埋め立てられるワインの瓶などを再びガラス作品として復活させる大和郡山市環境対策活性化プロジェクトなど、様々な場所で多くの人々とのコラボによりガラスアートを創り上げてきた。

ガラスに直筆を残す「ガラス書」を体験し商品化について考えてみよう! 参加申込書

申込み締切：2月28日(火曜日)

大阪から情報を発信する文化活動グループ 熟塾・FAX：06-6946-2815

お名前

ご住所

TEL NO

E-mail

電話：090-8381-0150 (不在の場合は、留守電にお名前・ご住所・お電話番号を録音願います)

熟塾ホームページ <http://www.jukujuku.gr.jp/> (BXI05250@nifty.com)からもお申し込みいただけます。

お申し込みいただくと、会場の場所等を明記した参加証を郵送いたしますので会費は当日ご精算ください。

雑御膳・実技用ガラスを用意しますので、3月1日(木)以降のキャンセルについては、会費全額を請求させていただきますので、ご了承ください。